

令和6年度中学生チャレンジウィーク アンケート結果

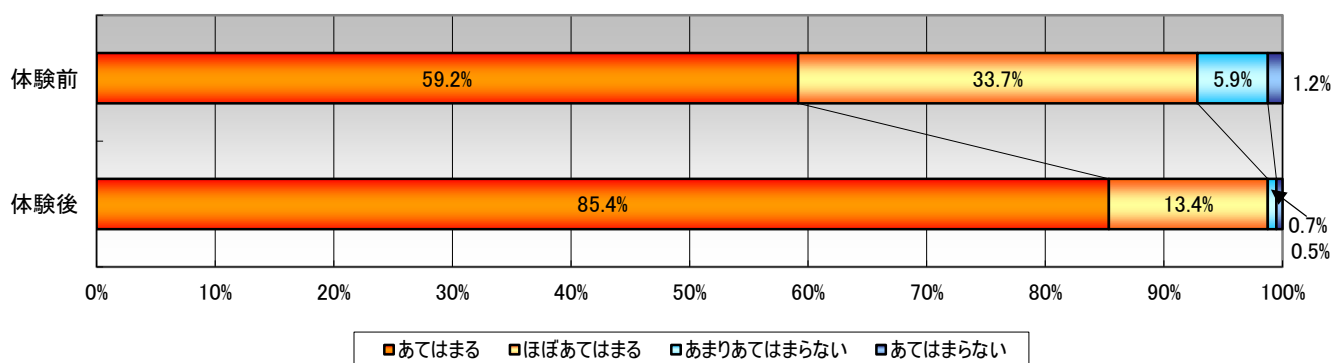
滋賀県教育委員会

令和6年度中学生チャレンジウィーク アンケート 結果

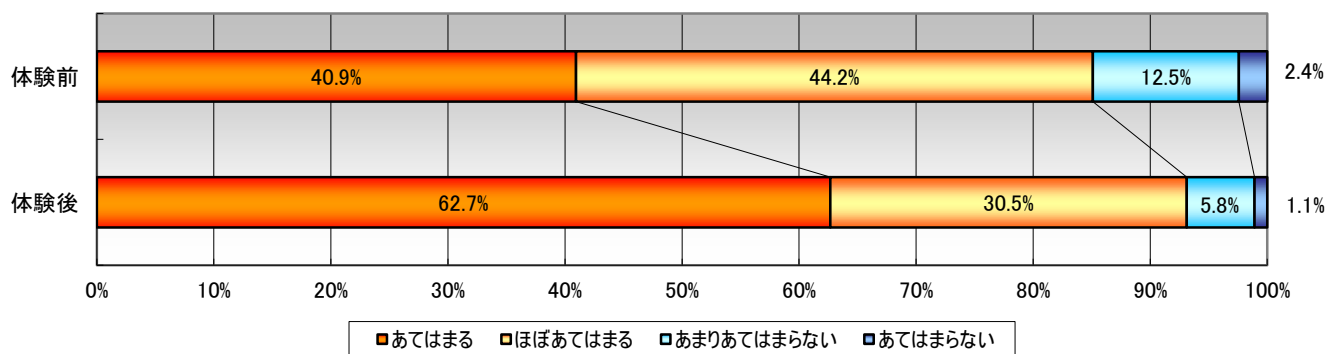
調査・まとめ	滋賀県教育委員会
調査時期	令和6年12月末現在
対象校	抽出34校(12月末現在、実施済み97校中(対象98校)) 実施計画書提出市町教育委員会に調査協力を依頼
対象者	・中学2年生 1970人 ・保護者 1425人 ・受け入れ先 1130人 ・教職員 253人
調査方法	・記述式(選択・自由)によるアンケート調査

(1) 生徒アンケートの結果

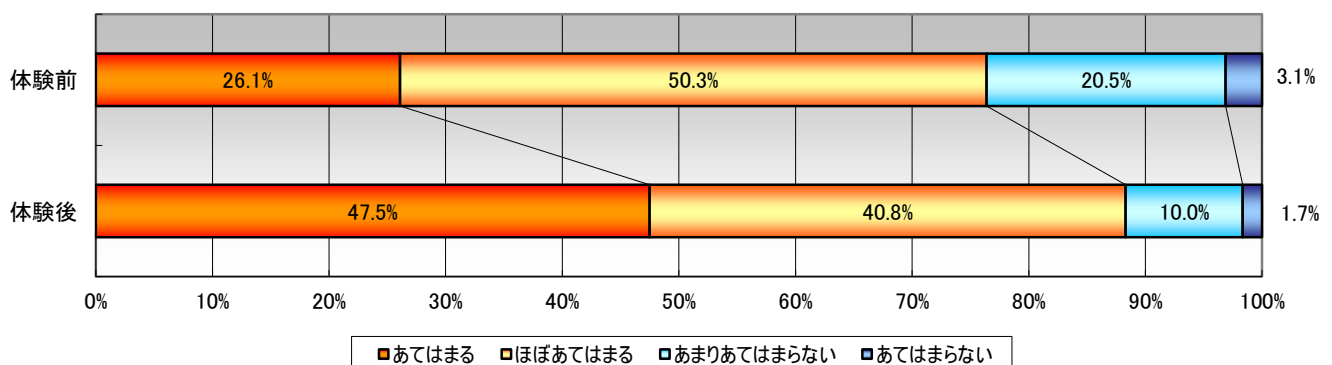
1 働くことの大切さや苦勞がわかる。



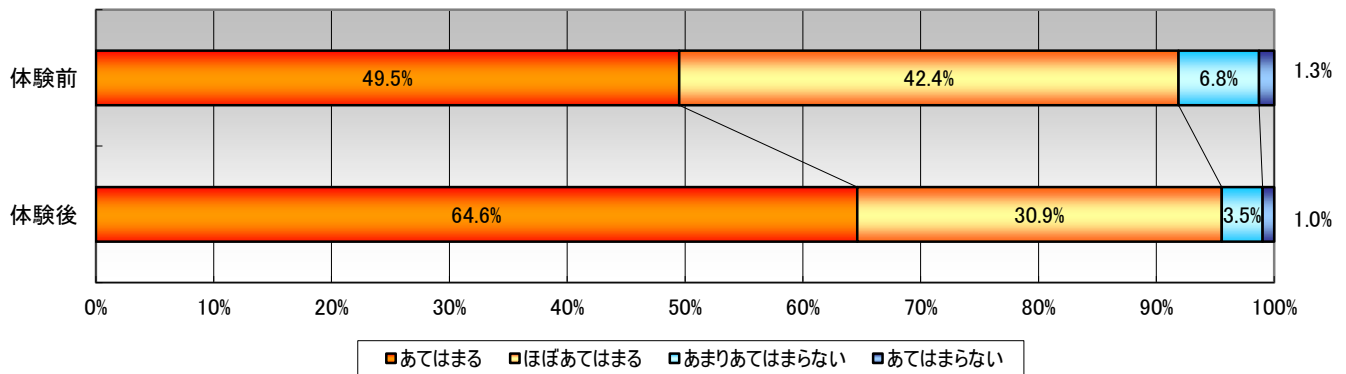
2 学習に前向きに取り組んでいる。



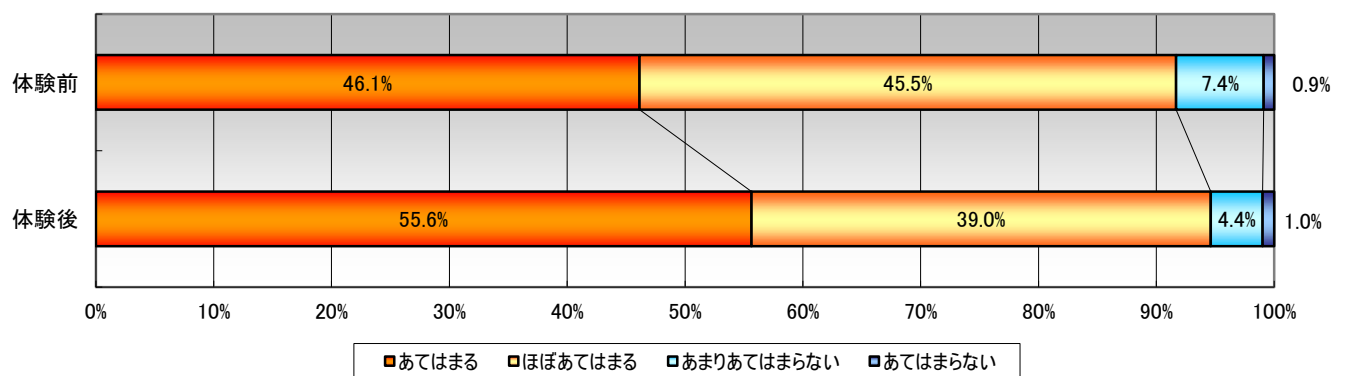
3 不得意なことや苦手なことでも最後までやり通している。



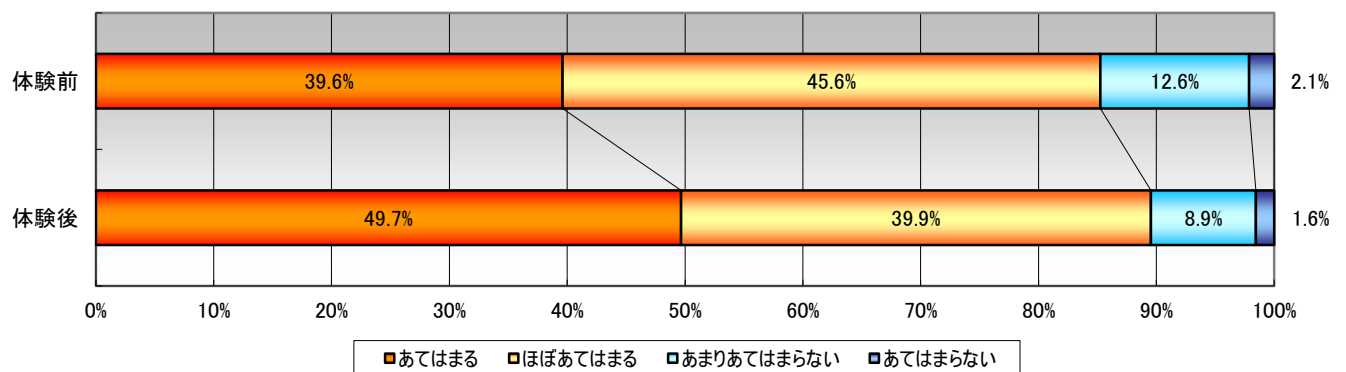
4 周囲と力を合わせて掃除や係の仕事をしている。



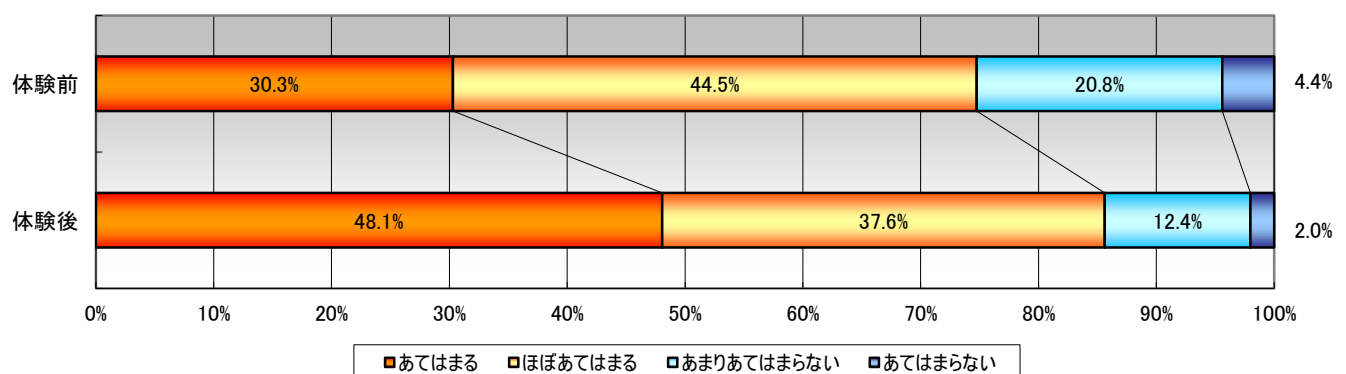
5 自分や他人のよさがわかり、自分と異なる意見を理解しようとしている。



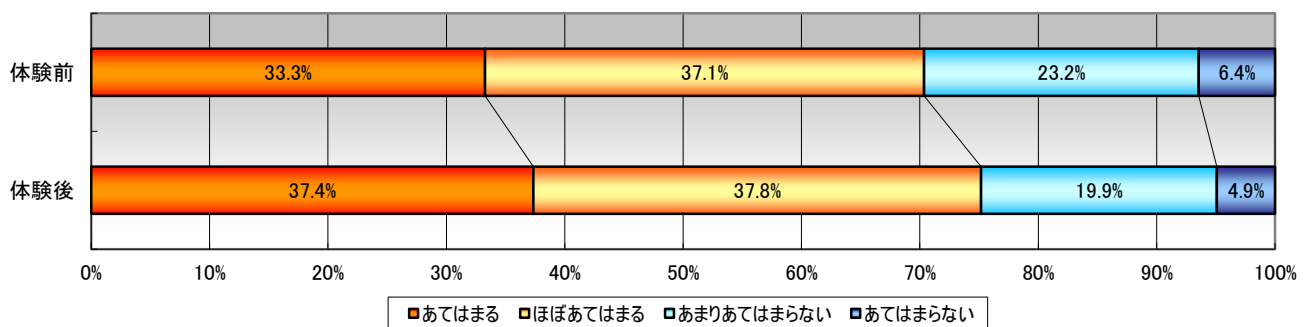
6 学校で学んでいることと社会のしくみがつながっていることを理解している。



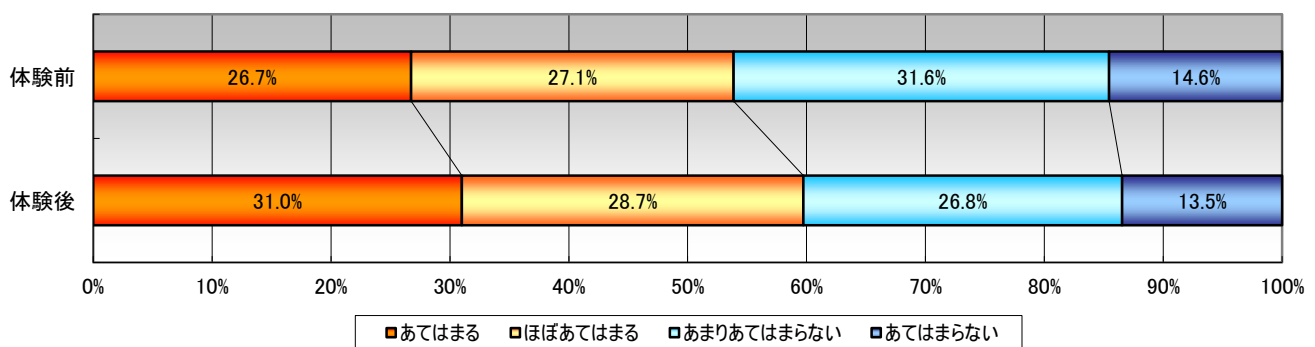
7 わからないことは、自分から質問をするなどして解決しようとしている。



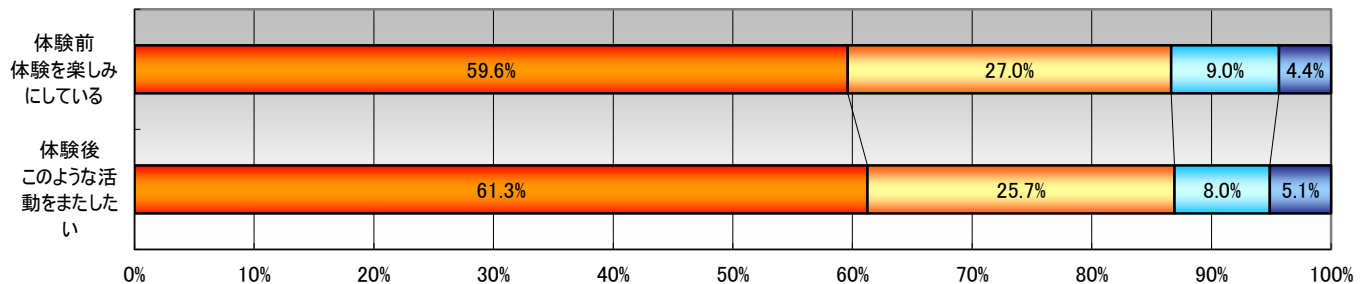
8 自分の進路やつきたい職業などについて考え、今しなければならないことを理解している。



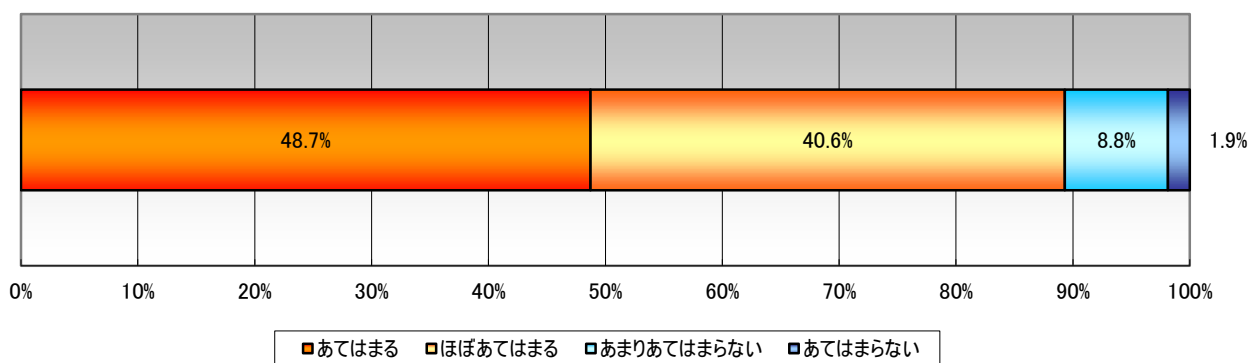
9 働くことについて、親(保護者)と家庭で話をしている。



10 職場体験を楽しみにしている。

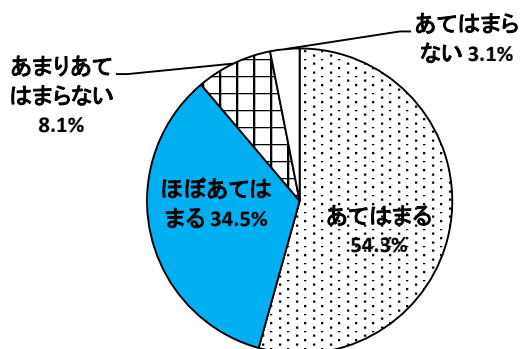


11 職場体験で自分のよさや適性などを発見したり、確認したりできた。

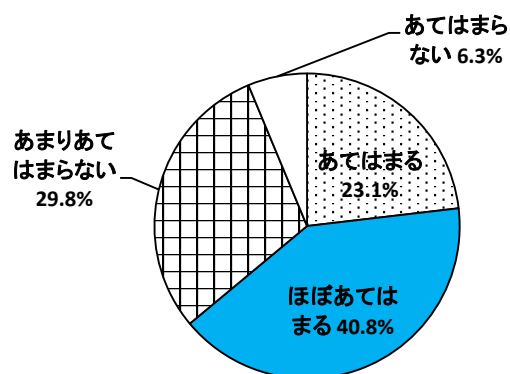


(2)保護者アンケートの結果

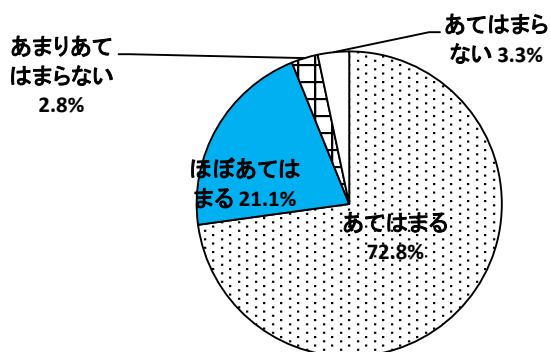
12 職場体験「中学生チャレンジウィーク事業」を通して、お子さんとこの活動について話合った。



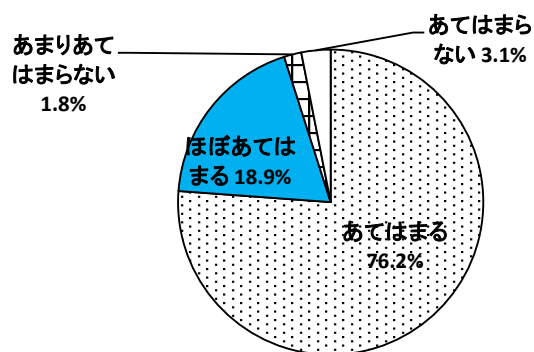
13 この活動を通して、お子さんに対する見方が変わった。



14 この様な体験活動の機会があれば、またお子さんを参加させたいと思う。

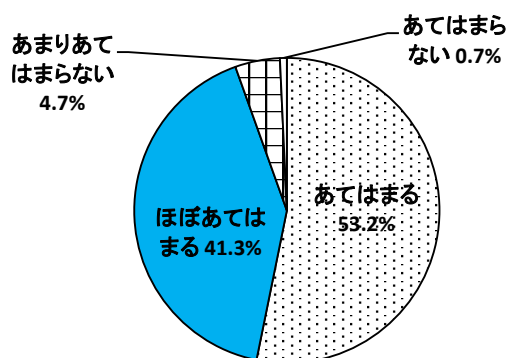


15 このように職場体験などを通して地域社会で子どもたちを育てる活動に賛同する。

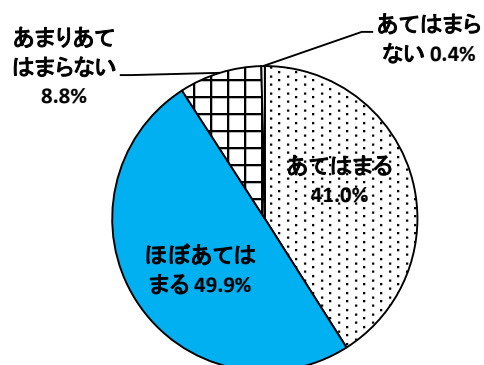


(3) 受け入れ先アンケートの結果

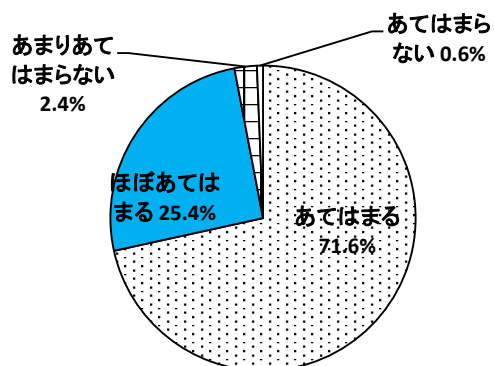
16 職場に来た生徒たちの取り組み方は積極的であったと思う。



17 この職場体験を通して、生徒たちに変化が見られた。

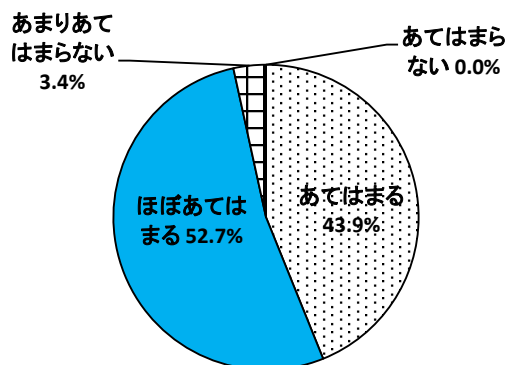


18 今後も職場体験として、中学生を受け入れる機会があれば協力したいと思う。

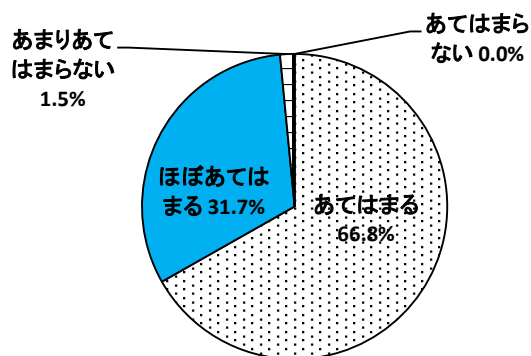


(4)教職員アンケートの結果

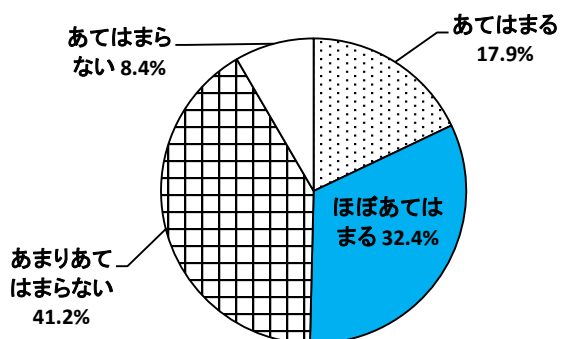
19 職場体験の実施にあたり、生徒一人ひとりを大切にした取組ができたと思う。



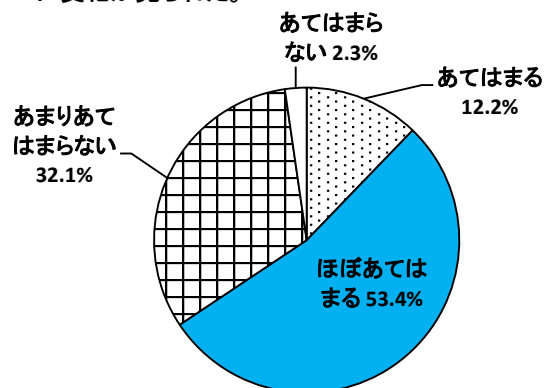
20 職場体験は、学校と地域社会をつなぐ活動であったと思う。



21 職場体験の実施にあたり、各教科において関連した内容を指導している。



22 職場体験を終えて、生徒たちの日常生活に変化が見られた。



自由記述の抜粋

■生徒アンケートより

～自分への気付き～

- ・ 幼い子どもへの接し方を学び、日常生活でも後輩と接するときに気を付けるようになった。
- ・ 飲食店で働く大変さや効率化の大切さに気付き、視野を広くして自分の行動に自信をもって過ごすべきだと感じた。目上の人への言葉遣いも学び、分からないことや困ったことがあればすぐに聞くことの大切さも学んだ。
- ・ 仕事に対する意識が変わり、挨拶や返事を大きな声でするようになり、敬語も以前より使うようになった。
- ・ コミュニケーションの大切さが以前より分かった。
- ・ 同じ作業を繰り返すのが自分には向いていないと感じた。
- ・ 人任せにならずに、自分で考えて主体的に行動できるようになりたいと感じた。
- ・ 一つ一つの行動を慎重に行うようになった。
- ・ 働くことについての意識が変わった。
- ・ 職場体験で「勉強することは将来必ず役に立つ」と教えてもらい、放課後は一時間ほど勉強するようになった。
- ・ 周りをよく見て、その時にふさわしい行動ができるようになった。働くことの大切さが分かり、日々生活できるのは見えないところで人が支えてくれているからだ気付いた。

～働くことに対する気付き～

- ・ 学校の外で仕事をする経験を通して、人とのコミュニケーションが仕事の上でとても重要なものだと分かった。
- ・ 働く前は、やりがい「ただ口で言っているだけだ」と思っていたが、実際には多くのやりがいがあることが分かった。
- ・ 職場体験を通して、働くことの大切さや次の行動を意識すること、周囲に目を向けることができるようになった。
- ・ 職場体験の前は、働くことの大切さや苦勞があまり分かっていなかったが、職場体験を終えて、働くことの大切さや苦勞を実感することができた。
- ・ 職場体験に行く前は、学校で勉強するよりも仕事をする方が簡単だと思っていたが、体験後は働くことの大切さや苦勞に気付いた。仕事の大切さや苦勞、挨拶の大切さ、礼儀の必要性、「安全に、正確に、速く」という心得など、簡単だと思っていた仕事は実はとても大変で難しいことが分かった。
- ・ 職場体験を通して、働くことの大切さを知り、親への感謝の気持ちをもつようになった。働くことはお金をもらうだけではないということに気付いた。仕事は作業が終わったら終わりではなく、利用者に満足してもらって初めて終わるのだと分かった。
- ・ 職場体験を通じて、自分たちが普段食べている食事は、多くの人が苦勞して作ってくれていることに気付いた。
- ・ 実際に働いたことがなかったので分からないことがたくさんあったが、職場体験を通して、少し仕事について考えやすくなった。
- ・ 命を守るために命を懸けて助けている人がいることを知り、すごいと思った。

■保護者アンケートより

～子どもの変化や保護者の願い～

- ・このような体験活動に、今後も参加する機会があれば積極的に取り組んでいただき、将来を具体的にイメージし、考えられる子になってほしいと思います。
- ・興味をもっている職業の体験に参加させていただいたため、毎日とても楽しそうでした。この体験を通して、将来自分が就きたい職業がさらに明確になったように感じました。ありがとうございました。
- ・この体験を通じて、働く意義や賃金のこと、協力する大切さなど、普段考えることのなかったことを考える良いきっかけになったのではないかと思います。
- ・サポートを受けながらしっかりやらせていただけたようで、疲れながらも楽しんで仕事ができ、達成感が得られたようでした。仕事に対する姿勢を間近で見ることができ、多くの学びがあったと思います。
- ・お弁当のありがたさを感じ、自然と「ありがとう」と言ってくれました。
- ・打ち合わせや挨拶の場面で言葉遣いに気を付けていることが分かり、成長を感じました。
- ・身体を使う仕事内容で、疲れている様子もありましたが、文句を言わずに頑張ったようです。一回り成長してくれることを期待しています。

～感想・ご意見等～

- ・自分でやりたいことを見つけ、積極的に興味をもって参加していました。家庭でも、どのような体験をしたのか、どう思ったのかを笑顔で楽しそうに話してくれました。朝から自分で準備をし、体験にふさわしい服装を考えることもできました。
- ・仕事をする中で、自分以外の人やお客様に対する思いやり、仕事の効率など、さまざまなことを考えていたので、学校では学べない社会性を少し感じ取れたのではないかと思います。
- ・働くということに対するイメージが、ポジティブなものばかりではないことを体験できたようで良かったです。社会に出る楽しさも厳しさも知る、良い機会になったと思います。
- ・朝、遅刻をせずに早めに家を出ることや、メモを取るなど、学校生活でも必要なことを再確認できたようです。職場で体験したことを毎日話してくれました。どんな仕事でも責任感をもって取り組む必要があることが分かり、働く大変さを知ったようです。
- ・このような機会がなければ、飲食店で働く経験はできないため、子どもも毎日楽しみに通っていました。家庭でも仕事の内容を話してくれ、できることが増えると誇らしげな様子でした。
- ・親としては経験のない業務だったため心配しましたが、友達と協力しながら取り組めたようで安心しています。
- ・職場体験をきっかけにさまざまな職種に興味をもったようで、家族で話し合う良い機会にもなりました。その日の活動内容をよく話してくれ、楽しそうな様子が伝わってきました。
- ・訪れた事業所は幼稚園でしたが、小さな子どもたちとの関わり方や、先生方の仕事の多さなど、自分たちが知らなかったことをたくさん学べたのではないかと思います。
- ・働いている方を見て、お客さんに食事が提供されるまでに多くの人が動いていることが分かり、とても大変だと気付いたようです。
- ・初めは不安でいっぱいの様子でしたが、日を追うごとに「仕事が楽しかった」と生き生きと話す姿が見られました。

■受入先アンケートより

～印象に残ったこと等～

- ・最初は緊張されており、表情も硬く「何を話したらいいのか…」と戸惑いも見られましたが、日に日に笑顔が増え、ご利用者に積極的にお話をされる姿がとても印象的でした。
- ・真面目で一生懸命な姿が新鮮に感じられました。今回の経験を通じて「食」に対して少しでも興味をもってもらえたら幸いです。
- ・図書館の仕事はカウンター業務だけでなく、外からは見えないさまざまな業務があることを知ってもらえたようです。慣れない作業に初めは戸惑う様子がありましたが、どの生徒さんも積極的に取り組んでいました。
- ・仕事に取り組む姿勢も真面目で、大きな声で挨拶ができる点に感心しました。初心や素直さ、謙虚さを改めて学ばせてもらいました。
- ・吹奏楽部の生徒さんが多かったため、普段から利用しているホールについて多くのことを知る機会になったと思います。
- ・はじめはお二人とも消極的でしたが、時間が経つにつれて積極的に車の構造や仕組みについて質問をされるようになり、お客様に対する挨拶も積極的に行っていました。
- ・皆さん仲が良く、協調性があり、「こうした方がいい」などお互いにアドバイスをしながら作業していた姿が印象的でした。また、こちらの話を聞くときは目を見てしっかりと聞き、質問にもきちんと答えてくれたので気持ちが良かったです。
- ・介護士や看護師など、将来の夢を持ち、福祉体験に来てくださったことも素晴らしかったです。積極的に取り組み、覚えたことを自発的に進めていた姿が印象的でした。

～工夫されたこと～

- ・依頼された仕事をするだけでなく、建設的な仕事をこなせるよう工夫しました。生徒一人ひとりが安全に安心して体験できるように、生徒のことで分からないことは学校へ確認するなどして、連携が取れるように努めました。
- ・自分より小さな子どもを「かわいい」「大切にしよう」という気持ちをもってもらえるよう、子どもと関わる時間を多く設けました。おやつ作り（ホットケーキ）や花植えなどのレクリエーションを実施し、ご利用者（お年寄り）や職員と一緒に活動することで、会話がしやすくなり、少しでも楽しいと感じてもらえるよう心がけました。また、車椅子や福祉車両に乗ってもらい、ご利用者の気持ちを少しでも感じてもらえたらと思い実施しました。
- ・消防といえば消火活動や救助活動が主だと思われがちですが、事務仕事も多くあるため、その内容について全てではありませんが知っていただきました。安全面として水分補給にも気をつけ、生徒さんには自分の水筒とは別に必ず 500ml のペットボトルを飲むように促しました。
- ・職場体験を家庭でも話題にしてもらえるよう、フラワーアレンジメントを作り、持ち帰ってもらいました。また、最終日には作業風景や皆で撮った写真をプレゼントしました。不動産の仕事については簡単な説明にとどめましたが、それよりも「生き方」や「夢の描き方、叶え方」、日頃意識していることや、これからの社会で待ち受ける苦難とその乗り越え方について伝えました。
- ・体験中は職場の良い所ばかりが見えがちだと思うので、色々な面を紹介し、仕事のリアルを伝えるよう心がけました。

～感想・ご意見～

- ・中学生が来てくれることで、私たちも普段の仕事からは得られないことを知るきっかけになり、ありがたいと感じています。中学生が緊張しながら頑張って参加している姿や、保護者の方が心配しつつも良い経験になることを願い送り出されていることを思うと、担当する各職員は互いにしっかりと連携し、正確に対応すべきだと改めて感じました。
- ・毎年、時間をきちんと守れる子たちばかりで素晴らしいです。ただ、どの学校にも言えることですが、約束の時間よりだいぶ早く到着されること（30分以上前など）がありますので、10分前行動くらいを目安にいただけると助かります。
- ・職場体験は、子どもにとって仕事を体験できる貴重な機会であり、受け入れ企業側も知ってもらうことで、将来の働き先の選択肢にもなりうる重要な機会だと思いますので、ぜひ継続してほしいです。仕事の内容についての質問事項などを事前に決めておけば、生徒側から質問しやすくなるかもしれません。
- ・職場体験を終えた後、学校でどのように発表や交流が行われているのかも知りたいです。今回、中学生と地域団体が協働して活動を行うことができました。この1週間だけでなく、年間を通じて地域団体と協働できるような取り組み、例えば一種の部活動のように自然環境保護をテーマに調査研究を行い、月に一度程度現地で保護活動（整備活動）をするなどにつながっていくと素晴らしいと感じました。
- ・小売業としては、売り場に商品を並べ、いかにお客様に商品を手に取っていただくか（価格や商品の特徴の魅力を伝えること）を念頭に業務を行っており、その信念を短い期間でも感じ取ってもらえたら嬉しく思います。
- ・生徒にとって良い体験だと思いますので、今後ともご協力させていただきます。
- ・中学生が職場体験をすることは、大人になる前の良い刺激になると思いますので、今後も受け入れ態勢を継続していきます。
- ・私たちも中学生を受け入れることで、多くの勉強になりました。
- ・職場体験のやり方が職場ごとに異なると思うので、他の職場ではどのように行われているのか知りたいです。また、事前面談だけでなく、体験学習終了後に面談をして、生徒の様子や感想を教えていただけると助かります。
- ・慣れない職場で緊張もあるため、もう少し体験時間を短くしても良いかもしれません。
- ・実施時期が昨年10月、今年は7月だったので、時期が一定の方が予定を組みやすいと思いました。
- ・最低限のあいさつはできるよう指導していただきたいです。
- ・もう少し主体性・積極性の大切さを生徒たちに伝えてほしいです。「考える、意見を言う、複数人で作業する」ときに、大人が常に話し相手にならないと進まないことが多く、博物館らしい作業をしてもらいたいという考えもありますが、受け入れがしんどいと感じるのも正直なところです。

■教員アンケートより

～職場体験後の生徒の変化～

- ・教室の雰囲気少し前向きになり、係活動に積極的な生徒の様子が見られた。
- ・日常生活で敬語を使い、生活態度を改める様子が見られた。挨拶や仕事について、見える部分だけでなくその背景を理解するようになった。
- ・アポイントの電話や事前打ち合わせ、当日の体験などを通して教師以外の大人との関わり方を学び、これからに生かそうという気持ちを感じられた。
- ・コミュニケーションの仕方について、生徒自身の思いだけでなく、相手の状況や反応を伺えるようになった。
- ・当たり前のことをきっちりしようとする意識や、落ち着いた行動が見られるようになった。
- ・言葉遣いや身だしなみなど、学校内だけでなく、外の世界での行動について考えながら過ごす姿が見られた。これが今後の人生に生きるよう、働きかけや授業での取り組みを意識する必要性を感じた。
- ・メリハリをつけられるようになり、分からないところは積極的に質問し、困っている人には声をかける姿が見られた。
- ・職場体験を通じてベストを尽くし、良い表情をしている生徒がいた。また、時間を守るようになった生徒もいる。
- ・授業への姿勢が変わり、ノートを以前より意欲的に取るようになり、積極的に質問する生徒が増えた。

～職場体験の事前・事後の指導で、計画的に行っている内容等～

- ・目的意識を高める指導として、「働く魅力を見つけ、伝える」ことを目標に掲げ、毎時間その目標を確認しながら学習を進めた。また、社会科では産業や職業について少しずつ取り入れたり、道徳では挨拶の重要性を考えたりする授業を行った。
- ・まとめとして、事後の学習では新聞作成や発表会、お礼状の作成など、社会に出てから必要なスキルを学ぶ機会を提供した。生徒たちは自分の体験を振り返り、学びを線としてつなげていく取り組みを行った。
- ・事前のマナー指導や事後の振り返りを通じて、挨拶や時間を守ること、社会の一員としての意識を育成し、人と関わるスキルの向上を図った。
- ・事前学習では、マナー講座や履歴書の作成、電話対応の練習をした。また、働くことや生きることの意義について講師を招いて学びを深めた。
- ・事後学習では、体験内容をまとめ、全校発表やプレゼンテーションを行い、礼状の書き方を学び、実際に事業所へお礼状を送付した。

～職場体験学習で、社会人講師等、地域の教育力を活用したり、小学校やPTAやハローワーク等と連携したりした取組事例～

- ・本校の地域学校協働活動推進員が数件の事業所を探してくれた。
- ・滋賀県学習情報提供システム「におねっと」を通じて依頼し、社会人としてのマナーや働くことの心構えについて学ぶ機会を設けた。
- ・綾羽高校の学校長を迎え、「仕事の大切さ」について講話を行い、企業や病院で働く方々にも職業講話をしてもらった。
- ・社会人講師による電話のかけ方や敬語の使い方についての指導を行った。

- ・おうみ未来塾「仕事人と語ろう」グループに協力してもらい、「職場でのマナー講座～これだけはおさえておきましょう～」や「働くこととは」というテーマで講話を行った。
- ・ビジネスホテルの職員や小学校の先生に、仕事内容やビジネスマナーについて講演をしてもらった。
- ・ラジオ DJ、デイサービス職員、美容師、カメラマン、漁師といった5つの職種の方々にも講演を依頼し、仕事についての話をしてもらった。

～職場体験学習を通して地域との連携が深まり、地域行事などで中学生の活躍の場面が増えた事例～

- ・職場体験中に、市の国際協会が開催するイベントに参加し、地域の方々と交流をもつことができた。特に、市役所市民生活課に受け入れていただき、幼稚園の交通安全教室や地域の交通安全啓発活動に参加できた。
- ・事業所様からのアンケート回答の中には、職場体験を地域連携事業ととらえ、ご協力いただいた事例があった。一方で、市役所の協力を得ることができず、地元や地域行事への参画が十分ではなかった。
- ・地域活動としては、幼稚園の作品展を見に行ったほか、お世話になった幼稚園の行事に参加し、手伝う様子も見られた。また、学習発表会に事業所の方々が参加してくださった。地域のまつりへの参加の呼びかけがあり、何名かが当日の参加を予定している。
- ・コミュニティスクールと連携し、講演等を実施していただいたほか、医療施設でのコンサートに吹奏楽部が演奏依頼を受けた事例があった。さらに、工務店が作製した椅子を校区の幼稚園に届ける取り組みを通じて、地域とのつながりを感じることができた。

～職場体験の事前・事後の指導で、昨年度より充実させた内容～

- ・事前の事業所アンケートを QR コードを利用して実施しました。
- ・1年生の3学期には、地域の方にご協力いただき、職業講話を実施した。
- ・活動中の帰着連絡は例年電話で行っていたが、今年度は QR コードを利用することでスムーズに確認することができた。
- ・事後学習では、個人で職場体験のまとめレポートに取り組んだ。
- ・1年生の生徒、2年生の保護者、事業所の方にご参加いただき、発表会を開催した。また、新規事業所を開拓し、職種の選択肢を増やした。職業講話の回数を増やし、学年所属の教師による過去の経験や働く中で感じていることについての話を複数回行った。履歴書の作成指導も行った。
- ・職場体験学習後、校外学習などがあったため、振り返りやお礼状作成に十分な時間を確保することができなかった。そのため、活動内容を吟味し、大幅に改善を図った。
- ・職業人講話では、弁護士や検察官の方を招き、仕事内容や働く意義について講演していただいた。また、他校の職場体験動画の視聴を取り入れる取組を行った。
- ・事前の職業人講話用の辞令を作成し、辞令交付式を実施した。生徒が各家庭に近い事業所で職場体験を行うことで、子どもの負担を軽減することができた。今年度はワーキング講座に3名の講師を招き、講座後に班でプレゼン資料を作成し、班ごとに学級で発表して交流を図った。

- ・事前学習では講師を招き、講演や講座を行って内容を充実させた。また、お礼状や事後レポートの作成にタブレットを活用した。発表会当日とは異なるグループで職場体験学習発表会のリハーサルを実施し、多くの職場について知る機会を提供した。
- ・教育と探究社の「ジョブトライアル」を活用し、これを基に学習計画を立てた。事後学習では、それぞれの事業所で働く魅力を伝えるポスターを作成し、保護者やお世話になった事業所を招いてポスターセッションを実施した。毎回の学習では、職場体験学習の目的（働く魅力を見つけ、伝えること）を確認してから学習を進めた。
- ・事前学習として、生徒劇を学級委員会で行い、職場体験のイメージをもたせた。ICTを活用した発表会を学級と学年で2回実施した。オリエンテーションでは講師を招き、意識付けの話をしていただいた。
- ・日々の挨拶やお辞儀の仕方、各企業におけるコンプライアンスの徹底を指導した。事前学習では、生徒たちに「働くこと」について何を重視するか討論させたり、職場体験のイメージ動画（NHK for School）を視聴したりした。事後学習では金融教育を実施した。